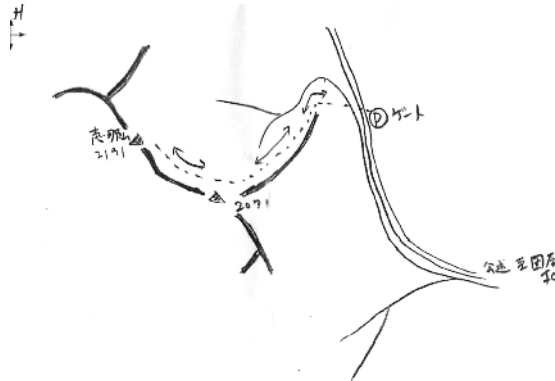


恵那山

3 年ぶりの挑戦

2020 年 3 月 7 日

L: 齋藤



アクセス

中央道園原 IC を下車し南へ一本道。林道の途中にあるゲート前に 20 台程の駐車場あり。

3 月 7 日(土)晴れ

今年は暖冬で雪が少ないため、ゲートまで車で行ける、という情報を得たので向かってみた恵那山。今回こそ 100 名山の山頂を踏めるかな。



なんとゲートまでノーマルタイヤ

ゲートには既に 10 台近くが駐車されていた。先行者に踏まれて雪が荒れる前にヘッドスタートで登り始めたかった自分としては、二度寝してしまい 1 時間以上も出発が遅れたことが悔やまれる。

ゲートから登山口まで林道を歩く。至る所で斜面の崩落が進んでいる。石がコロコロ落ちてくる時は収まるのを待って、上を見ながら急いで渡った。



車だったら怖いな



今回は駐車場から 25 分で登山口♪



予想外に登山開始から雪あり

開始から少々進んだあたりで雪と岩のミックス地帯が出てきたので、早々にチェーンスパイクを装着。歩きが安定してペースが一気に上がる。



あれが目指す山頂かな



朝もやが雲海のように。遠くには南ア

トレースがついた雪道を黙々と登る。飽きてきたので途中で道を変えてみた。たまに膝上程度まで埋まるが、基本は締まっていて歩きやすい。イグルー作る際はこんな感じの固めの雪が良いんだよな。あ、そうだ。この分だとあっさり山頂に着いてしまいそうだから、下山中にイグルーや雪洞掘りでもしようかなと、適地を下見しながら山頂を目指す。



まだ 10 時前なのに登頂しちゃいました

前回は雪が深くて車が入れず、林道入口に車を置いて、登山口まで 2 時間もかかって、人は誰もいなくて、2 合目を越えた辺りでソロラッセルに疲れて撤退したけど、こうやってトレースがあって特

に苦労もなく登れる時もある。同じ時期なのに自然はその時々で異なる顔を見せるから面白い。惹きつけられる。

さて、山頂はお世辞にも展望が良いとはいえないので休憩もそこそこで下山を始めた。チェーンスパイクは雪団子が付いて歩きにくいので脱いだ。そういえば、自分は滑落の心配がない雪山下山時は、敢えて靴を滑らせるようにして歩く。理由は単純に早いからだ。小学校の時に流行っていたローラースケートのおかげなのか、25年以上やっているスノーボードでエッジの感覚や雪道歩きに慣れているからなのかは分からないが、若干すっ転びそうになりながらバランスを取って下るのが楽しいのである。

そうやって歩いているうちに、目星をつけた穴掘り地点に到着。ピッケルを刺してみる。30センチから下が固い。まさか地面じゃないよな、とピッケルですらにつつくと、やはりまだ雪が続いている。しかもその奥も固い。かなり焼結が進んでいる。なるほど、今日の装備で雪洞やイグルーは作れるだろうか。まず、スノーソーが無いのでイグルーは厳しい。雪洞掘りはどうだろう。掘れるギアはピッケル、アイゼン、コッフェルってとこか。この固い雪で人ひとりが入れる穴を掘るとすると、相当な体力を使ううえ、2時間以上はかかるだろう。時間がかかった分だけ、手袋が濡れる率が高まる。よって今日の装備では作れるだろうが時間の

無駄。と判断した。単独で山に入ることが多い自分はスコップとゾンデ、スノーソーを通常装備に追加してもよいかなと思う。万が一の際の対応速度が明らかに異なるからだ。そして今回のように時間に余裕がある時は雪洞やイグルーの練習をしてみるのも良い。あの固い雪。スノーソーで切り込んでみたかったなあ。きつといいものが出来た。

なんだか消化不良でモヤモヤしながら下山。天気が良かったので気分転換に河原で湯を沸かしてカップラーメンを食べて帰った。



ぽかぽか陽気でおいしいラーメン

<タイム>

ゲート P(7:02)- 登山口 (7:26)- 恵那山 (In9:55Out10:12)- 登山口 (12:05)- ゲート P(12:29)

(齋藤 記)